

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
今帰仁村	今帰仁村地区 (今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次、崎山、平敷、謝名、越地、仲宗根、玉城、呉我山、湧川、天底、勢理客、渡喜仁、運天、上運天、古宇利)	令和4年3月25日	令和4年3月25日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	495 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	366 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	30.8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.2 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	25.6 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

高齢化が進んできており、農地はあるが担い手がいなくなっている。
後継者不明の農地も多いため、後継者の確保や村外からの新規就農者等の受入れを検討する必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

高齢化及び後継者不足により、耕作放棄地が増えていくと思われる。今後は、規模拡大の意思がある中心経営体を優先的に、農地の集約を進めていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

耕作放棄地等の農地所有者で借受希望者がいれば、農地中間管理機構に貸し付けを行うか、農業委員会を通して地域内の農業者に貸し付けるようにしていく。

基盤整備への取組方針

農業の生産効率の向上や農業所得向上を目指し、中心経営体を優先的に基盤整備への取り組みを促進していく。